

会議名	令和7年度 つばさ南小・つばさ北小の統合による小中一貫教育校に関する説明会
開催日時	令和4年6月28日(火) 午前10時から 時 分まで
場 所	とねがわ幼稚園ホール
参加者	26人
議 題	(1) 令和7年度 つばさ南小・つばさ北小の統合による小中一貫教育校に関する説明 (2) 説明に対する質疑
出席者	教育長 中村正宏 教育総務課長 鈴木克久 学校統合・学校教育指導幹 関口敬氏 学校統合推進室長 坪内嘉夫 事務局職員 松本竹司
配布資料	資料 令和7年度つばさ南小・つばさ北小の統合による小中一貫教育校
<p>説明会の内容・概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 説明 5 説明に対する質疑 <p>《教育長あいさつ》省略</p> <p>《資料により説明》省略</p>	

《質疑・応答》

質問 児童生徒の登下校の方法について、徒歩、自転車、スクールバスによる登下校があると思うが、通学手段はどのようになるのか。

回答 基本的には、小学生は徒歩、中学生は自転車と考えており、遠距離通学の小学生はスクールバスでの登下校を想定しています。

なお、遠距離通学の目安は、現在、スクールバスで登下校をしている「つばさ南小学校」、「つばさ北小学校」と同様に自宅から学校までの直線距離が2 km を越える児童を遠距離通学と考えています。

また、徒歩の児童については、これまでと同様に、中学生から自転車での通学にしたいと考えています。なお、詳細については、今後、協議していきます。

質問 令和17年度を目途に施設一体型小中一貫教育校（最終統合）として、新しい校舎を新設予定とのことですが、建設場所は決定しているのか。

回答 現時点では建設場所は決定していませんが、人口減少が進むなか、持続可能な公共施設を目指し、町が策定した「川島町公共施設個別施設計画」では、川島中学校周辺に小中一貫教育校を整備するとしています。

令和17年度を目途とした施設一体型小中一貫教育校（最終統合）の建設場所については、今後、保護者や様々な方の意見を踏まえ、最適な場所を決定したいと考えています。

質問 令和7年度を目途とした先行統合に際し、低学年棟を建設し、その10年後の最終統合の際も新しい校舎を建設するとのことだが、財政的にはかなりの負担になると思います。財政的な負担についてどのように考えているのか。

回答 現在の町内各小中学校は建築からかなりの年月を経過し、大規模改修の時期を迎えています。新しい校舎の建設は大きな財政的負担となりますが、将来を見据えると、川島町の子供たちに最適な教育をするためには、必要な負担と考えています。

質問 小中一貫教育校では、小学生と中学生が同一施設で学習することになります。小学生と中学生では体格も異なることから、校庭を利用する際は、危険なこともあるように思います。校庭内を仕切るなどの対策は検討しているのか。

回答 現在、小学校低学年棟の南側に遊具の設置を予定しています。また、校庭でボール等を使用することも想定されることから、防球ネットの設置等も検討していきます。

なお、小学生と中学生が同一施設で学習することで、高学年児童生徒が低学年の児童生徒を思いやる心が育まれるといわれており、そのような効果も期待しています。

質問 学年により授業時間が異なると、中学生の定期テストの際に、低学年の児童が校庭で遊んでいるケースなどがありえると思います。校庭からの声で中学生が集中できないというようなことがあるのではなはいか。

回答 他の小中一貫校はノーチャイムを実施しています。また、様々なケースがあると思いますが、小学校、中学校の教職員が情報共有し、状況に応じては静かにすることを呼びかけるような指導をすることで、対応は十分可能であると考えています。

質問 スポーツ庁から運動部活動の地域移行に関する提言が提出されました。部活動で人数不足のためチームを組むことができないという問題もあるなか、地域移行についてどのように考えているのか。

回答 提言では、2023年度（令和5年度）から2025年度（令和7年度）末までの3年間を目途に、休日の運動部活動を段階的に地域移行するというものです。
川島町では、総合型地域スポーツクラブなどもありますので、埼玉県教育委員会、中学校体育連盟と連携・協力しながら、川島町にとってふさわしい形を検討していきます。

質問 LGBTQといわれる性的マイノリティ（性的少数者）が社会的な問題となっています。思春期の児童生徒が通学する小中一貫校ではそのような児童生徒に対する「制服」や「トイレ施設」などについての配慮はどのように考えているのか。

回答 これまでも制服等については検討してきました。しかし、現在の社会情勢や各家庭への負担を考えると制服を変えるべきではないと考えています。なお、令和17年度に向けて、性的マイノリティにも配慮した制服や水着、トイレ施設等も引き続き検討してまいります。

質問 施設一体型と施設分離型の小中一貫校では、「学習」や「部活動」において、大きな差が出るように思うが、どのように考えているのか。

回答 施設一体型と施設分離型の小中一貫校では目指す児童生徒像は共通ですが、実際に可能なことが異なるのも事実です。しかし、両校の方向性については、共通の教育目標をもって小中一貫教育を推進していきます。施設分離型においても小中学校の教員が交流連携し、質の高い教育を目指して小中一貫教育を推進していきます。

《課長あいさつ》省略

作成者 教育総務課 学校教育グループ 松本

